

問1 ブラジルのアマゾン川流域で見られる、開発と先住民の生活保護に関する記述において、森林の変化が先住民にどのような影響を及ぼしているか、その背景を含めて説明したものと正しいものを選んでください。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 輸出用の農産物を生産するための土地確保を優先した結果、先住民が伝統的に行ってきた生活様式を維持することが困難になっている。
2. 先住民の住居を近代化するための都市開発が進んだ結果、森林の伐採面積が増え、若者が都市部へ流出する問題が起きている。
3. 野生動物を保護するための自然保護区が設定されたことにより、先住民が狩猟を行うことが法律で全面的に禁止されている。
4. 先進国による環境保護団体の活動が活発化したことで、先住民が伝統的な焼畑農業を続けることができず、食料不足に陥っている。

問2 ブラジルで普及しているバイオエタノールなどのバイオ燃料は、再生可能エネルギーの一つとして注目されています。この燃料を利用することが地球温暖化の抑制に貢献すると考えられているのはなぜですか。その仕組みについて説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。
2. 従来の化石燃料に比べて燃焼効率が非常に高く、同じエネルギー量を得るために必要な燃料の総量を大幅に削減できるから。
3. 水力発電と同様に、製造から燃焼に至るまでの全工程において温室効果ガスを一切排出しない仕組みが確立されているから。
4. アルミニウムの原料であるボーキサイトの精錬過程で発生する副産物を利用しており、廃棄物の削減に直接つながるから。

問3 南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに発展したインカ帝国と、その地域で行われてきた生活様式について述べた文として、自然環境との関わりを踏まえた記述として正しいものはどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。
2. 熱帯雨林の広がる低地において、焼畑農業によってキャッサバなどを栽培し、移動を繰り返しながら生活する文化を築いた。
3. メキシコ高原の乾燥した気候を活かして、とうもろこしの栽培を基礎とした都市国家を形成し、独自の暦や文字を発達させた。
4. 季節風の影響を受ける温暖な平野において、大規模な灌漑設備を整えることで稲作を中心とした中央集権国家を樹立した。

問4 世界の諸地域における人口構成の変化について、イギリスとブラジルの予測される傾向を説明したものと正しいものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. イギリスでは、総人口の増加などの要因により、2035年時点の生産年齢人口が2010年時点の実数よりも多くなると予測されている。
2. ブラジルでは、2035年になっても年少人口割合が1985年当時の水準である約37%を維持し、若者の多い人口構成が続くと予測されている。
3. イギリスは先進国であるため、2010年から2035年にかけて、新興国であるブラジルよりも生産年齢人口の割合と実数の両方が大幅に減少する。
4. ブラジルでは2035年に向けて老年人口が急増するため、生産年齢人口の割合が、年少人口と老年人口を合わせた割合を下回るようになる。

問5 南アメリカ大陸の西側にあるアンデス山脈や日本列島周辺は、火山活動や地震が非常に多い地域として知られています。これらの地域に共通する地理的背景の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. プレートの境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため
2. 古生代の造山運動によって形成された後、長期間の浸食を受けて平坦になったため
3. 大陸の中央部に位置しており、数億年以上前から安定した地盤が続いているため
4. プレートが左右に広がる境界に位置し、海底から新しい地殻が次々と生まれているため

問6 18世紀後半からオーストラリア大陸の植民地化を本格化させ、現在のオーストラリアにおける公用語や法制度、議会政治の基礎を築いたヨーロッパの国家として正しいものを選びなさい。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. イギリス
2. フランス
3. オランダ
4. スペイン

問7 南アメリカ大陸の西側に連なるアンデス山脈周辺の高地では、人々は厳しい自然環境に合わせて独自の生活文化を築いてきました。この地域で見られる、標高が高いことに起因する気候の特徴と、そこで営まれている産業や生活についての説明として正しいものを選択してください。（2017年 徳島県公立入試 類似）

1. 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。
2. 標高が高く降水量が極端に多いため、大規模な稲作が行われ、水辺に適したトナカイが家畜として利用されている。
3. 低緯度で一年中高温多湿なため、熱帯雨林が広がり、高地を利用した広大なコーヒーのプランテーションが展開されている。
4. 季節による気温差が非常に大きいため、冬の寒さに耐えられるよう、厚い毛を持つラクダが主な移動手段として使われている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 輸出用の農産物を生産するための土地確保を優先した結果、先住民が伝統的に行ってきた生活様式を維持することが困難になっている。	ブラジルでは外貨を獲得するために大豆などの輸出用作物の栽培が推進され、それがアマゾンでの農地開発を加速させました。開発によって森林という生活の場を失った先住民は、代々受け継いできた狩猟や採集、小規模な農業といった伝統的な生活ができなくなっています。このように、経済発展のための開発と、マイノリティである先住民の権利や文化保護をどう両立させるかが、現代の南アメリカにおける重要な政治的・社会的課題となっています。
問2	<b>答え 1</b> 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃やすことで二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素はもともと植物が成長過程で大気中から取り込んだものです。このように、ライフサイクル全体で見たときに大気中の二酸化炭素量を増やさないという考え方を「カーボンニュートラル」と呼び、地球温暖化対策として重視されています。ブラジルはこの分野で世界をリードする国の一つです。
問3	<b>答え 1</b> 高地特有の冷涼な気候に対応するため、じゃがいもなどの作物を栽培し、マチュピチュのような高度な石造りの都市を建設した。	アンデス山脈のような標高の高い地域では、気温が低く酸素も薄いため、平地とは異なる生活の工夫が必要でした。インカ帝国の人々は、斜面に段々畑を作って冷涼な気候に強いじゃがいもを栽培し、車輪や鉄器を使わずに巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術を持っていました。これに対して、メキシコ高原で発展したのはアステカ文明であり、地域背景が異なります。
問4	<b>答え 1</b> イギリスでは、総人口の増加などの要因により、2035年時点の生産年齢人口が2010年時点の実数よりも多くなると予測されている。	人口推計において、イギリスは人口構成比の変化だけでなく総人口の動きも重要です。イギリスの統計では、総人口の増加によって、主要な労働力となる15歳から64歳までの生産年齢人口の実数が2010年よりも2035年の方が増加すると予測されています。一方、ブラジルは「多産多死」から「少産少死」へと急速に移行しており、1985年から2035年の間に年少人口割合が半分以下に激減するという、極めて速いペースでの少子高齢化が予測されています。
問5	<b>答え 1</b> プレート境界付近に位置しており、地殻運動が活発であるため	アンデス山脈や日本列島は、環太平洋造山帯という大きな変動帯の一部に属しています。海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むなどのプレート運動によって、巨大なエネルギーが蓄積され、それが火山の噴火や地震、急峻な山脈の形成へとつながっています。これに対し、地震や火山がほとんどないアフリカ大陸やオーストラリア大陸の大部分は安定陸塊と呼ばれます。
問6	<b>答え 1</b> イギリス	1770年にイギリスのクックがオーストラリア東海岸に到達して領有を宣言し、1788年から本格的な植民活動が開始されました。この歴史的背景により、現在もオーストラリアはイギリス連邦の一員であり、公用語として英語が使用されています。
問7	<b>答え 1</b> 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。	アンデス山脈の高地では「常春」とも表現されるように、一年を通して気温の変化が小さく、冷涼な気候が続きます。このため、熱帯の低地よりも過ごしやすい高地にラパスのような大都市が形成されました。この地域特有の家畜であるリヤマ（主に運搬用）やアルパカ（主に衣類の原料となる毛用）は、高地の厳しい環境に耐えることができるため、人々の生活を支える重要な存在となっています。選択肢にあるトナカイは北極圏、ラクダは主に乾燥帯の動物であり、地域的な特徴が異なります。